

会 議 要 録

名 称	豊橋市地球温暖化対策推進会議
開催日時	平成30年10月2日(火) 午後2時00分から午後3時30分
出席委員数	17人(委員数20人)
出席委員名	宮部年康様(青木良浩委員の代理)、石田正明委員、岩瀬啓子委員 大嶽有介委員、神谷充委員、北田敏廣委員、坂井忠志委員 鈴木拓也委員、鈴木美江委員、滝川浩史委員、竹内延之委員 夏目典佳委員、番場啓泰委員 小木曾充彦委員、木和田治伸産業部次長(稲田浩三委員の代理) 加藤修一委員、古池弘人委員
欠席委員名	刑部光弘委員、川西裕康委員、河邊光司委員
オブザーバー	愛知県 環境部 地球温暖化対策課(欠席)
事務局職氏名	温暖化対策推進室長/三浦正人 主幹/牧野哲也 主査/廣瀬克昭 担当/森下仁美
議 題	(1)豊橋市の温室効果ガス排出量およびエネルギー消費量の実績について (2)豊橋市地球温暖化対策地域推進計画の関連施策の進捗状況について (3)「豊橋市エコアクションプラン」と「とよはしエコマネジメントシステム」 (T-EMS(テムス))について (4)その他(温暖化への適応策について)
議事の概要	<p>1. 開会</p> <p>2. 委員の紹介</p> <p>3. 議題</p> <p>(1)豊橋市の温室効果ガス排出量およびエネルギー消費量の実績について</p> <p>(2)豊橋市地球温暖化対策地域推進計画の関連施策の進捗状況について</p> <p>(3)「豊橋市エコアクションプラン」と「とよはしエコマネジメントシステム」(T-EMS(テムス))について</p> <p>(4)その他(温暖化への適応策について)</p> <p>3. 閉会</p>

豊橋市地球温暖化対策推進会議 会議録

日 時：平成30年10月2日（火） 14時00分～15時30分

場 所：豊橋市役所 85会議室

委員数：17人／20人

○開会

○委員長あいさつ

○委員紹介

○議題

（1）豊橋市の温室効果ガス排出量およびエネルギー消費量の実績について

（事務局から別紙資料に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明について何かご質問はないでしょうか。

委員：前年と比較して産業部門において二酸化炭素排出量の実績が大きく変動しているがどうお考えでしょうか。

事務局：全体で二酸化炭素排出量が4.6%減っているが産業部門、中でも製造業で8万トン近い削減になっている。これは鉄鋼や化学工業において設備改良を行われたり熱交換をする技術が発達したことによると考えています。

農業については、11.7%の削減となっているが生産高は上が

っています。農業は電力由来のエネルギー消費が多くなっています。再生可能エネルギーの普及も二酸化炭素排出量の削減に影響していると考えます。

二酸化炭素排出量の増減については複数の原因があるとは考えられますが、主なものとしては今挙げたものではないかと推測しています。

(2) 豊橋市地球温暖化対策地域推進計画の関連施策の進捗状況について

(事務局から別紙資料に基づいて説明)

委員長：ご質問、ご意見いかがでしょうか。

委員：生ごみの出し方について学校で教育する場を設けてはどうでしょうか。

事務局：幼児環境教育として幼稚園などでごみに関する普及啓発の講座を環境政策課が行っています。

また、温暖化については小学校の5, 6年生向けに温暖化対策推進室で年十数回行っている状況です。

委員：温暖化対策に関する企業に対する補助金はもう少しわかりやすくならないでしょうか。

事務局：昨年度まで行っていた中小企業向けセミナーを今年度は実施しませんでした。ニューボイス10月号にて市の次世代自動

車購入補助制度等の情報を載せたチラシを同配しました。国などの省エネに関する補助制度は要綱が複雑で申請手続きも煩雑であるため、内容について企業の皆さまへ説明できる機会が設けられればと考えています。

委員：バイオマス利活用設備の導入において成功を収めているとは思いますが、生成された燃料の消費や生ごみ収集に関するルート再検討や燃料費のコストの削減についてはどうお考えか。

事務局：29年度の豊橋市の二酸化炭素排出量に関して、ゴミ収集車を含む公用車の燃料使用による排出量は増加しましたが、バイオマス利活用センターの稼働により、それを上回る二酸化炭素削減効果がありました。

委員：生ごみを集める際の工夫についてはどうお考えか。

事務局：IoTなどの技術等を活用しながら、効率よく収集ができるよう業務改善を進めていきたいと考えています。

委員長：バイオマス利活用センターで生成された炭化燃料についてはどうか。

事務局：民間へ販売しています。また、生成されたバイオガスで発電も行っており、施設としては順調に稼働しています。

(3)「豊橋市エコアクションプラン」と「とよはしエコマネジメントシステム」(T-EMS)について

(事務局から別紙資料に基づいて説明)

委員長：ご質問、ご意見いかがでしょうか。順調に進んでいますね。
先にもご説明いただいた、バイオマス利活用センターの稼働による削減効果が大きいようです。

(4) その他（温暖化への適応策について）

(事務局から地域推進計画 8 頁に基づいて説明)

委員長：温暖化が進んでることが顕著だが、どのような適応策があるか皆さまのご意見いかがでしょうか。
身近なところとして、先日の台風でも医療用の電源の確保が困難であったと聞いています。分散型の電源、蓄電池などを有事にむけて各家庭で整備することも必要かもしれませんね。

委員長：議題等は以上になります。本日の会議全体を通じて何かご意見等あれば事務局のほうへいただければと思います。本日は議事の円滑な進行にご協力頂きありがとうございました。それでは進行を事務局にお返しします。

事務局：委員長ありがとうございました。これで推進会議を終了させていただきます。委員の皆さまありがとうございました。